

## 「夕張岳」地質巡検案内

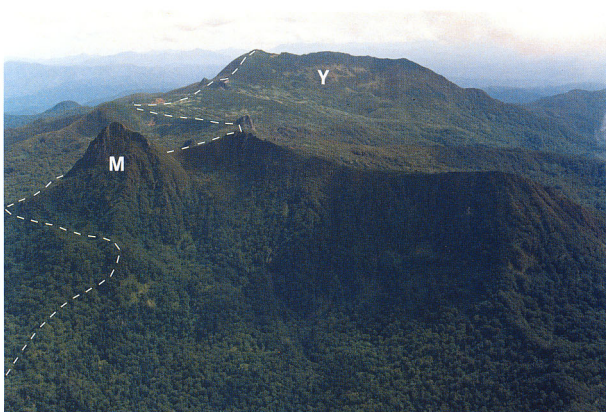
20万分の1「夕張岳」図幅内には多くの地質巡検スポット<sup>1)</sup>があります。そのうち「夕張岳蛇紋岩メランジュ」は以前、本誌の「私の推薦する天然記念物」シリーズで取り上げられました(1992年5月、453号)。それが図幅の出版に合わせて「夕張岳の高山植物群落と蛇紋岩メランジュ帯」として国の天然記念物に指定された(1996年6月19日告示)のです。夕張岳は標高1668m、花の名山として知られていますが、簡単に車では行くことができない山地なので、写真で紹介しましょう。

実際に訪れたい方には、簡単に入手できる登山ガイド<sup>2)</sup>が参考になります。西側の夕張市から林道を終点まで車で入った所に一泊(駐車場から15分程登った所に市営の山小屋やキャンプサイトがある)、翌日山頂まで往復(8時間ぐらい)して、一気に帰ってしまうのが一般的です。しかし地質巡検ともなれば、林道沿いはアンモナイトで有名な白亜系蝦夷累層群の好露出が連続するので急いで見逃すわけにはいきません。さて、登山道は、下位に位置する空知層群の中に作られています。山小屋から2時間ほど登ると枕状溶岩でできた急な前岳の中腹を北側へ回り込み、視界が開けるとそこには蛇紋岩メランジュが広がっています(口絵写真1)。

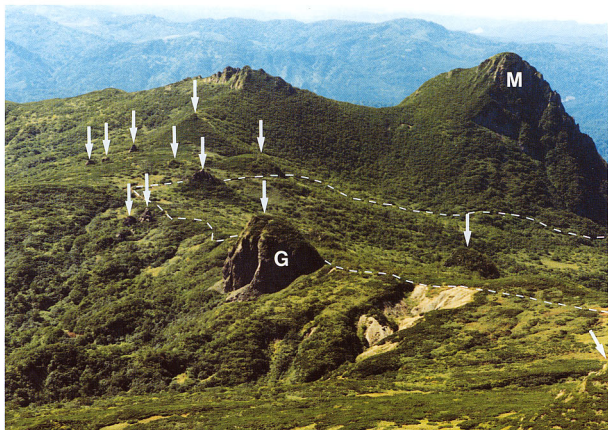
有名になった分登山者が増えて、植物が痛めつけられているようです。地元では材木を担ぎ上げて湿原に木道を作ったり、コースロープを張ったりして高山植物の保護対策を進めています。地質巡検で訪れるにしても、脆弱な高山植物や特殊土壌を荒らすことのないようマナーを守って登山するようお願いします。ハンマーも御法度ですのでご注意ください。<地質調査所 北海道支所 中川 充>

注1) ガイドブックとして「札幌の自然を歩く」、「空知の一」、「十勝の一」。いずれも北海道大学図書刊行会出版。

注2) 「北海道夏山ガイド⑤道南・夕張の山やま」、北海道新聞社出版など。



1. 西側上空より撮した夕張岳全景。巨大な変成岩ブロックである夕張岳(Y)と、空知層群下部層の枕状溶岩からなる前岳(M)に挟まれた部分がなだらかな蛇紋岩メランジュ。白の破線は登山道を表す。途中一部で途切れるのは前岳の陰に隠れているため。北海道新聞社提供の航空写真に加筆。



2. 夕張岳山頂から撮した西側に広がる蛇紋岩メランジュ、大小さまざまな変成岩ブロック(白矢印)が蛇紋岩分布域の中に突出した典型的なノッカー地形を眺めることができる。これは差別浸食によって柔らかく崩壊しやすい蛇紋岩分布域が選択的になだらかになった結果である。蛙に似た形のブロックであるGamma岩(G)の右手前に蛇紋岩崩壊地が白く見える、登山道(白破線)は前岳(M)の中腹北側を半周している。

3. 札幌と帯広を結ぶ国道274号線沿いの展望台と夕張岳遠景。登山をしなくても図幅内を横切る国道沿いにある展望台で南側からの夕張岳を眺めることができる。国道の通称である石勝樹海ロードの銘が掲げられた石碑は蛇紋岩によって持ち上げられたブロックの一つであるチャート。



4. 展望台から見た夕張岳。堅い夕張岳ブロック(Y)と前岳(M)が東西両方の壁となり、Gamma岩(G)などを含む蛇紋岩メランジュ帯を過度の浸食で平坦化することから守っている。